世代別・職業別タウンミーティングでいただいた意見と市の対応

『テーマ：子どもたちの笑顔が広がるまち』　平成30年2月21日（水）19：00～

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| ☆ | 意　見　の　内　容 | 対応可能性と  対応時期 | 対応策または  不可能な理由等 | 担当課 |
| 1 | 公園は規制が多いので、子どもたちがボールで遊べたり、自転車に乗れるようになったりするといいと思う。 | □可　能  □対応済  □今年度中  □次年度以降  □検討中  □不可能  ■その他 | 松山市では平成１８年度から「ボール遊びができる公園づくり」を進めていて、地域の皆さんでボール遊びのルール作りや利用マナーの徹底などに取り組む公園を対象に、市が防球ネット等を設置して、これまでに１２カ所で「ボール遊びができる公園」を整備しています。  また、公園で自転車の練習などをすることについても、利用ルールや方法などを、公園管理協力会や地域の皆さん（町内会や高齢者クラブ、近隣住民など）が相談して決めています。  そこで、具体的にボール遊びや自転車の練習がしたい公園を教えていただきましたら、その可能性について公園管理協力会と地域の皆さんと一緒に検討していきたいと思います。 | 公園緑地課  村上　博  089-948-6497 |
| 2 | 生石小学校の校舎から体育館へ移動するための通路は屋根がなく、雨のときは児童が濡れるうえ、滑りやすいので、屋根を付けてほしい。不可能であれば代替案を考えてほしい。 | □可　能  □対応済  □今年度中  □次年度以降  ■検討中  □不可能  □その他 | 校舎と体育館の間には農道・水路があるため、建築基準法や松山市法定外公共物管理条例の規定で、原則、その敷地の上には建築物を設置することはできません。  仮設的なものも含め、設置できないか、関係部局と今後も協議・検討を進めていきます。 | 学習施設課  郷田　友和  089-948-6873 |
| 3 | 生石小学校の通学路で、豪雨時に、水が溢れて危険な水路がある。水路を塞ぐなど、安全対策をしてほしい。 | □可　能  □対応済  □今年度中  □次年度以降  □検討中  □不可能  ■その他 | 市道や水路を改良する場合は、地元の土地改良区や町内会から、沿線地権者の承諾を得たうえで、「事業の要望書」を提出していただき、その後、優先順に工事を行っています。  該当の西側の水路については、平成２０年１２月から平成２１年８月ころに市道生石１５５号の改良工事で、水路を覆いました。  また、該当箇所は通学路でもあり、平成２４年度に実施した通学路の緊急合同点検で、大雨時に通行が危険との指摘を受け、平成２６年度までに転落防止のガードパイプを設置しています。  なお、覆いをした水路の中に誤って人が入らないために、安全対策としてスクリーン（柵）を設置することについて、現在、地元土地改良区と協議を行っています。  今後の改良については、「事業の要望書」を地元の土地改良区や町内会で取りまとめていただき、道路建設課までご相談をお願いします。 | 道路建設課  二神　大造  089-948-6464  学校教育課  吉岡　祐郁  089-948-6590  下水道サービス課  尾崎　隆輝  089-948-6538 |
| 4 | 放課後児童クラブでは、建設場所の問題で施設が増やせず、スタッフ不足の問題もあるので、解決策を考えてほしい。 | ■可　能  □対応済  □今年度中  ■次年度以降  □検討中  □不可能  □その他 | 児童クラブの増設について、早期の対応が難しい校区もありますが、教育委員会や各学校の協力を得て、放課後に比較的利用が少ない教室や、長期休業中は利用できる教室を借用するなど、できる限り保護者のニーズに応えられるよう工夫をして運営しています。  また、支援員不足については、児童クラブと協力して人材確保を図っていますが、ぎりぎりの人数で運営している児童クラブもあります。そこで、平成３０年度から支援員の処遇改善を行い、さらに支援員の確保に努めることにしています。  今後も、児童クラブが子どもたちにとって安心して過ごせる生活の場となるよう、児童クラブの運営の充実に努めていきます。 | 子育て支援課  脛永　正広  089-948-6411 |
| 5 | 子どもの自転車マナーが悪いと思うが、指導の徹底について、どのように考えているのか。 | □可　能  □対応済  □今年度中  □次年度以降  □検討中  □不可能  ■その他 | 自転車マナーについては、小・中学生を対象とした交通安全教室で、「こども自転車免許証」や自転車シミュレーターを活用し、自転車の安全運転を呼び掛けているほか、高校や大学でもチラシの配布などにより、自転車の適正利用について意識向上を促しています。  そのほか、自転車道の整備や自転車の走行位置を示す「自転車ピクト」を道路管理者である国・県・市が連携して整備しており、ハード・ソフト両面から交通安全の推進に努めています。  しかし、高校生や大学生などの自転車のマナーが悪いという声もいただきますので、交通安全の意識が地域に根付くように、家庭での話し合いや大人が子どもの見本になるなど、市民の皆さんにもご協力をいただきながら取り組んでいきたいと考えています。 | 都市・交通計画課  中津　優  089-948-6421 |
| 6 | 味生第二小学校前の道路は危険なので、横断歩道を付けてほしいと通学路一斉点検のときにお願いしたが、警察から「横断歩道を設置すると、他の横断歩道を廃止しないといけない」と言われたので、市の方で調整してほしい。 | □可　能  □対応済  □今年度中  □次年度以降  □検討中  □不可能  ■その他 | ご指摘の味生第二小学校前の道路は、多くの児童の安全に関係することもあり、タウンミーティング後に横断歩道の設置について、松山市から警察に申し入れを行いました。警察からは、「横断歩道を設置することで、交通渋滞などにも影響するため、横断歩道の設置は、周囲の信号や横断歩道と一定の間隔が必要であり、現地を確認して検討する」という回答をいただいています。  横断歩道の設置は、設置間隔など、さまざまな基準などを基に警察が判断します。そこで、対策時期も含めて要望どおりにならない場合もありますが、別の安全対策を提案できる場合もありますので、横断歩道が設置できない場合は、改めて地域の皆さんや道路管理者等関係者が集まって、現地の状況を確認し、対策を検討したいと思います。 | 都市・交通計画課  中津　優  089-948-6421  学校教育課  吉岡　祐郁  089-948-6590 |
| 7 | 中学生がスマホを使う機会が多くなる一方、使い方のモラルができあがっていない。  市では、どのようにスマホ問題に取り組んでいくのか教えてほしい。 | ■可　能  ■対応済  □今年度中  □次年度以降  □検討中  □不可能  □その他 | 各学校では、学級活動や授業で、インターネット利用の良い点・悪い点や、使い方次第では、いじめへと発展したり犯罪に巻き込まれたりする可能性があることなどを指導しています。  また、学校によっては、警察やＮＰＯ法人等から講師を招き、ネット環境に関わる最新情報や対応策について学べる機会を設けるなど、計画的に情報モラル教育を推進しています。  インターネットを利用する場所は学校以外がほとんどであるため、学校だよりや生徒指導だよりなどを通して、各家庭や地域へも注意を促していますが、ご家庭でも、お子さんとインターネットの利用について、使い方の約束等も含めて話し合っていただき、学校と家庭の双方向から、子どもたちの安全を守っていきたいと考えています。 | 学校教育課  茅田　宗俊  089-948-6590 |
| 8 | 子ども医療費の負担軽減について、松山市では中学３年生までの通院費が無料になっていない。このことについて、市の方針や取り組み状況等を教えてほしい。 | □可　能  □対応済  □今年度中  □次年度以降  □検討中  □不可能  ■その他 | 松山市の子ども医療助成は、通院費が０歳から小学校就学前まで無料で、入院費については０歳から小学校３年まで無料であったものを、平成２７年４月からは中学校３年まで無料に拡大しました。また、ひとり親家庭では、平成２７年７月から母子家庭に加えて父子家庭でも、通院費・入院費とも無料にしています。  　この制度は、愛媛県からの補助を受けて実施していますが、松山市は県内他市町と比べ、補助率が低く抑えられています。通院費を中学校３年まで無料にするには、毎年、約７億円の費用がかかることから、そのための財源確保が大変難しい状況です。これまでも県からの補助率アップなどを受けて医療助成の拡充をしているところですが、補助率を他市町並みに引き上げてもらえるよう、引き続き県に対し粘り強く要望していきます。  また、子どもの医療助成については、本来は国が全国一律の制度として実施すべきであると考えていますので、全国市長会等を通じて国に対し要望するなど、実現に向けて取り組んでいます。 | 子育て支援課  渡部　直城  089-948-6888 |
| 9 | 中学生の職業体験で、事業所の受け入れが少しずつ厳しくなっている。行政からも事業所へ声掛けするなど、依頼の協力をしてもらえないか。 | ■可　能  □対応済  □今年度中  ■次年度以降  □検討中  □不可能  □その他 | 愛媛県が平成２９年度に開始した「えひめジョブチャレンジU－１５事業」では、平成３１年度から県下全ての中学校で５日間の職場体験学習を行うことが決定されています。  このことを受けて、松山市は現在、市の関係部局や商工会議所、商工会などに協力依頼をし、各学校で受け入れ企業の確保が十分にできない場合に備えて、受入企業リストを作成しています。  教育委員会としても各学校が充実した職場体験学習ができるよう、支援をしていきます。 | 学校教育課  藤原　一弘  089-948-6590 |
| 10 | 今の子どもたちは、自転車のブレーキをうまくかけられないなど、自転車に乗るのが下手なので、本市の自転車教室の内容をレベルアップすれば、より安全につながるのではないかと思う。 | ■可　能  □対応済  □今年度中  ■次年度以降  □検討中  □不可能  □その他 | 小・中学校での交通安全教室や自転車シミュレーターを活用した自転車教室では、主に交通ルールや交通マナーについての指導を行っています。今後は、自転車の乗り方などについて、専門家の意見も聞きながら、さらに内容の充実を図って行きたいと思います。 | 都市・交通計画課  中津　優  089-948-6421 |
| 11 | 市からＰＴＡ連合会に、市委員会への委員選出を多く依頼されている。また、委員会が平日の日中に開催されることも多く、負担になっている。  教育とあまり関係のない委員会への出席や開催時間等を見直してほしい。 | ■可　能  ■対応済  □今年度中  □次年度以降  □検討中  □不可能  □その他 | タウンミーティング後、会議のスケジュール調整や委員の選任等について、できるだけ配慮するように関係各課に周知しました。  一方で、松山市小中学校ＰＴＡ連合会の皆様のご意見は、子育て中の方の大変貴重なものと考えています。そのため、教育以外の分野についてもお願いすることがあると思いますが、無理のない範囲でご協力をお願いします。 | 教育支援センター事務所  小川　泰人  089-943-3205 |